

丸徳グループ

車両分科会

だ

よ

り

Vol.31

丸徳グループ各社従業員の皆様
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

- ・ 事故をする人、しない人
- ・ 夕暮れ時の死亡事故が急増
- ・ 交通ヒヤリハット(タイヤのバースト)
- ・ 愛知県警からのリーフレット9月

事故をする人、しない人

事故には巻き込む人と巻き込まれる人が存在します。

過失が **10** でも **5** でも **0** でも **事故は事故!!**

巻き込まれない運転について考えてみましょう。

事故をする人

「相手が一旦停止で
止まるだろう」

自分が優先！減速せず走行。



事故をしない人

「何かが飛び出してくる
かもしれない」

自分が優先でも、注意して徐行。



こんな場面でも



車の間から飛び出して来た



後ろからバイクが迫ってきた

自転車や歩行者が飛び出してくる

自分次第で事故は回避できるのです。

危険を予測して自衛の意識を持ちましょう。

夕暮れ時の死亡事故が急増

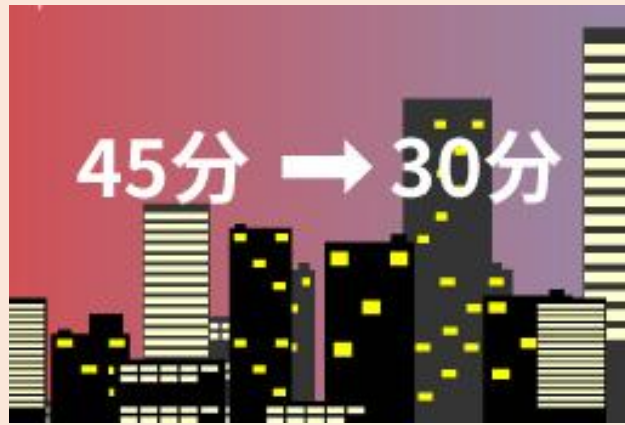
毎年、秋から冬にかけて交通死亡事故が増加する傾向にあります。

- ・特に多い時間帯は**17時～19時** 日没前後の「薄暮時間」
帯当事者としては**自動車 対 歩行者** 約9割は横断中の事故

●事故が急増する原因



日没時間が
急激に早くなる



周囲が暗くなるまでの
時間が短くなる



歩行者や自転車が見えにくくなる

★運転時に出来る対策



早めのライト点灯



「だろう」運転から
「かもしれない」運転へ



暗がりや
物陰にこそ注意

★歩行者に出来る対策



反射材やライト
の活用



交通ルール
を守る

「事故が多発する季節・時間帯」という意識を高く持ち、交通死亡事故を回避する行動を心がけましょう。

交通 ヒヤリハット

ヒヤリ：タイヤのバースト



状況

タイヤと縁石が接触した。
止まって確認したが、タイヤに擦り傷がついているだけだった。



ヒヤリ

整備工場で確認してもらった所、タイヤの空気漏れで、そのまま走行していたら、タイヤがバーストする所だった。

縁石とタイヤが接触したり、道路上の落下物を踏んだりするなど外的要因でバーストする事もあります。またタイヤの空気圧の過多、不足等でスタンディングウェーブ現象を引き起こす事もあります。車を走行中に振動などいつもと違う時は、メンテナンスを実施しましょう。車を運転する時は、「ムリな」運転は、危険です。



道路横断中の交通事故に注意

キーワードは「**高齢歩行者**」と「**左からの車**」

※過去5年間の県内の人身交通事故データを分析しています

9月～11月は高齢歩行者の道路横断中の死亡事故が増加

このような事故が発生しています



「**高齢歩行者**」が「**左からの車**」と衝突する事故が多い

なぜ高齢者？

身体機能の低下により

視力や認知機能の低下により

横断に時間がかかる

安全確認が不足する

横断できると思い道路を横断した結果 **横断途中に衝突**

交通事故防止のPOINT

ドライバーの方へ

早めのライト点灯と**ハイビーム**を活用

ライト点灯で車の存在をアピール！ハイビームは夜間の歩行者等の早期発見に効果的！

横断しようとする人を見つけたら **速度を落とす**

横断歩道以外でも横断する歩行者がいます！

横断歩道がある場合は歩行者優先です！

交差点又はその直近の横断歩道がない場所では、歩行者の通行を妨げてはいけません！



歩行者の方へ

横断中も安全確認

横断前に遠くに見えていた車が予想以上に接近していることがあります！

明るい服装と**反射材**

夜間はLEDバンドや反射材を活用しましょう！目立たせて事故防止！

LEDバンド



バンド型反射材



斜め横断・車両の直前直後の横断禁止

歩行者の交通違反となる行為です！



※交差点において道路標識等により斜めに道路を横断することができる場合を除く